



調査結果に基づくRPAの導入実態 と「進化する」RPA

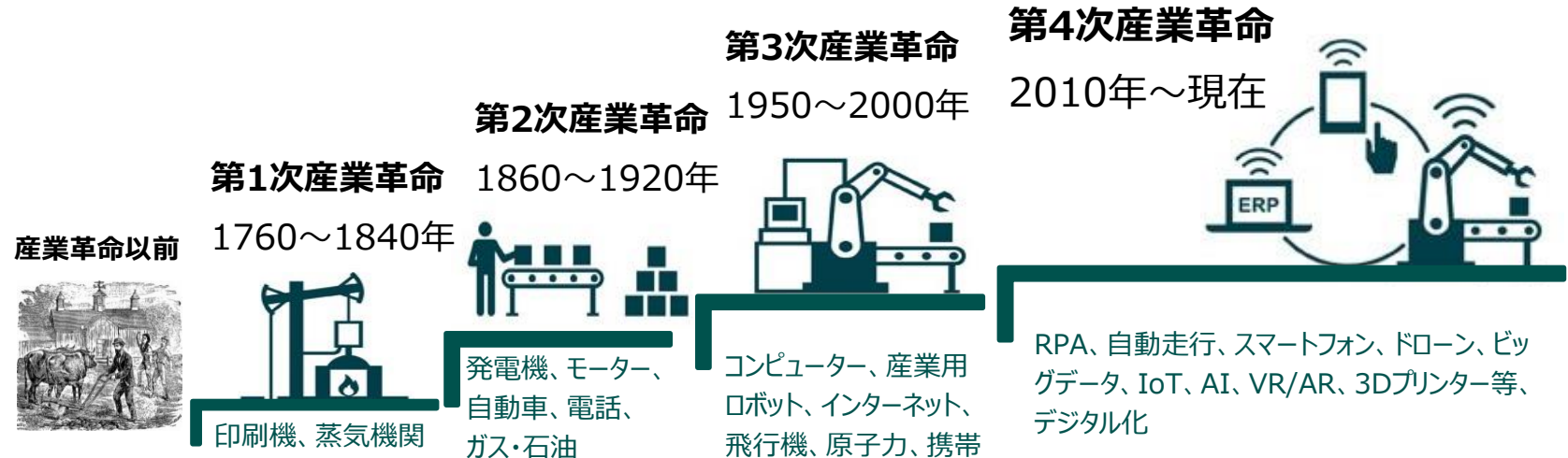
2018年9月12日

アビームコンサルティング株式会社



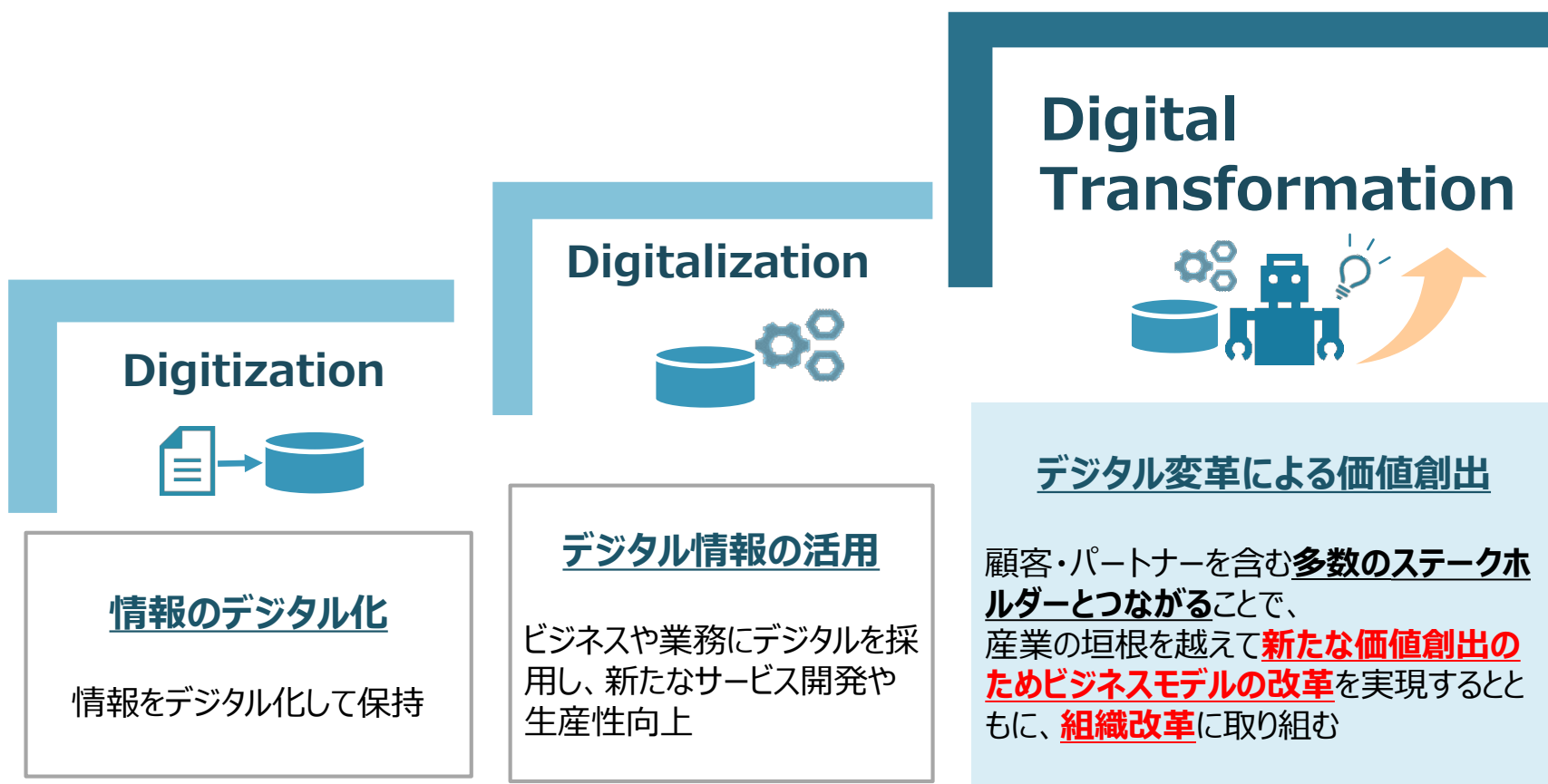
第4次産業革命によるデジタル化の波

第四次産業革命は、大量データとの接点・活用で起こる業界の垣根も越えた変革人とデジタルが共存する社会となり、産業構造や就業構造が劇的に変わる



競争原理		持続的な競争優位の獲得を巡り競争			データとの接点・活用を巡り 業界の垣根を越えて競争
土俵	競争なし	巨大資本同士	同一産業内	異なる産業も含む 企業同士	
特徴	同じ時間・ 同じ場所	動力を獲得 機械化による 分業が進み、 <u>生産と消費が 分離</u>	動力の革新 電気・通信で、 場所を超えた <u>大量生産・消費への発展</u>	自動化・高速化 コンピュータとインターネットによって <u>生産サイクル短縮化</u> <u>消費空間の拡大</u> 資本主義会社の台頭	人とデジタルの共存 人間の認識・学習をデジタルがサポート・代替し、 生活や就業構造が激変 製品・モノのサービス化など ビジネスモデルの変化が短サイクル化 デジタルによる新市場の創造と既存市場の破壊

人とデジタルとの関係は急速に変化してきている
マーケットニーズの変化に対応して、デジタルを駆使したビジネスモデル改革と、
それを実現できる組織変革に、企業は取り組む必要がある





安部 慶喜/あべ よしのぶ

**アビームコンサルティング株式会社
戦略ビジネスユニット
執行役員 プリンシパル**

戦略コンサルティング領域の実績

- 幅広い業種におけるグループ経営管理、業務改革、戦略人事、PMI及び事業計画策定等に実績を有する



アビームコンサルティング
RPAキャラクター
ABeam Digital Labor

RPA領域の実績

- RPA専門チームグローバル統括責任者
200名体制
(コンサルタント・開発者比率50:50)
- 責任者として数百ロボットのRPA導入を指揮
- RPAに関するスポークスパーソンとして様々なイベントにおいてメインスピーカーを務める

日経BP社より、書籍「RPAの威力」を出版致しました



2017/11/16

アビームコンサルティング株式会社

安部 慶喜 金弘 潤一郎

先進8社の実践的取り組みに学ぶ

RPAのソフトウェアロボットによる業務の自動化
ロボットと共に働くオフィスは未来ではなく今ここにある

- ◎導入企業の97%が5割以上の省力化を達成
- ◎約半数が4週間以内にロボットを稼働

《主な内容》

- 第1章 RPAの本質
なぜRPAが求められているのか?
- 第2章 進め方と成功のポイント
RPAを導入する際の注意点と対応策は?
- 第3章 先進8社の取り組み
各社の導入の狙いとその効果は?
- 第4章 RPAの将来像
ロボットはどのように進化していくのか?
そして人間は...

〔掲載企業〕

大和ハウス工業/農林中央金庫/ブリヂストン中国/帝人フロンティア/テレビ朝日/
アサツーディ・ケイ/NECマネジメントパートナー/インテージホールディングス

2017年 日経優秀製品・サービス賞 受賞

「2017年 日経優秀製品・サービス賞*」にて、「日経産業新聞賞 最優秀賞」を
弊社のRPA業務改革サービスが受賞

日経優秀製品・サービス賞とは

その年に発売された新製品・新サービス
約2万点の中から、特に優れた新製品・新サ
ービスを選出する賞

「RPA業務改革サービス」の評価ポイント

定型業務を減らし、より創造的な業務に時
間をシフトするコンサルティング提案を通じて、
100社以上の生産性向上と真の働き方改
革に貢献した点



※ 「日経優秀製品・サービス賞」の審査対象は原則として2017年1～12月に日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJ、日経ヴェリタス、日経電子版、Nikkei Asian Review(NAR)に掲載した新製品・サービス。生産財や消費財だけでなく、ソフトウェアや金融商品等も含む。

講演会多数

弊社の豊富な実績や専門的知見を各メディアにて掲載

メディア掲載実績

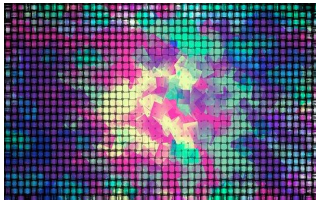
日本経済新聞	NHK ニュース7/おはよう日本
日経産業新聞	日経情報ストラテジー
日経BigData	週刊ダイヤモンド
日経ビジネス	週刊東洋経済
日経コンピュータ	RPA BANK
Business Research	アスクル みんなの仕事場
キーマンズネット	JB Press
りそなーれ	日刊工業新聞
ZDNet Japan	ガスエネルギー新聞
経済産業新報	オムニ・マネジメント
日経BP RPA総覧	繊維ニュース
日経マネー	ビズジ
商工ジャーナル	Bizコンパス

セミナー講演実施

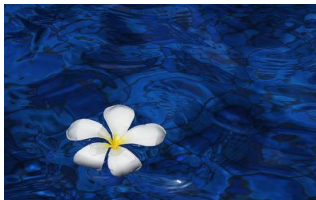
RPAサミット講演会	シンガポール講演	
日経RPA/ビジネスAI カンファレンス 2017	バンコク講演	
日経RPA/ビジネスAI カンファレンス 2018	ジャカルタ講演	
RPA Digital World	ホーチミン講演	
四国経済連合会	上海講演	
RPAクリニック講演	地方銀行協会RPAセミナー	京都工業クラブ講演
メディア向けRPA勉強会	T&Mフォーラム (政府CIO補佐官向け講演)	AIサミット
日本銀行ワークショップ	UiPath Conference	日本印刷業協会講演
セミナーインフォ講演	第二地方銀行協会講演	Partner Meetup2018
RPA AI Conference2017	NIRA総合研究開発機構講演	Biz/Zine Day
オラクル社ユーザー向け講演	関西ファクション連合講演	人材不足展
JSUG運輸部会講演	内閣府講演	日本銀行東海地区金融セミナー
RPAサミット(大阪)		



**調査からわかるRPAの導入実態
(RPA市場動向アンケート結果)**



進化するRPA



ロボットとの協働による新しい働き方

調査からわかるRPAの導入実態 (RPA市場動向アンケート結果)



調査概要- 1

本調査は、日本RPA協会とRPAテクノロジーズ社、アビームコンサルティングに対しての問合わせ件数、RPA導入実績件数を分析対象とした継続調査

調査概要			
調査目的		RPA導入企業の実態把握	
対象期間		2018年1月～2018年6月末	
調査 情報	カテゴリ	RPAに関する問合わせ件数	RPAロボット導入実績件数
	調査数	2,273件	322件
	データ 提供元	日本RPA協会 RPAテクノロジーズ株式会社	RPAテクノロジーズ株式会社 アビームコンサルティング株式会社

**本章の内容は、一般社団法人日本RPA協会及びRPAテクノロジーズ社との
共同著作権となるため、投影のみとさせて戴きます**

RPA会員サイト RPA BANKを通じて、2018年6月にRPA利用実態調査を実施

調査目的		RPA導入企業/導入検討企業の実態把握
調査手法		Webサイト上での回答選択式・記述式
調査期間		2018年6月11日～15日
調査 情報	有効回答数	720社*
	データ 提供元	 (株式会社セグメント)

* : RPAツールを提供している企業、およびツール提供企業と資本関係にある企業は除く

本章の内容は投影のみとさせて戴きます

RPAの最新動向



RPAの先進的活用の動向

RPA導入の次のステージとしてStage2 CognitiveやStage3 Intelligenceの支援実績、および活用事例が増加



Cognitiveの全体像と日本企業におけるニーズ

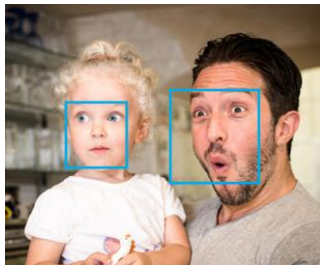
Cognitiveとは非構造化データの認識技術を指している。特に、日本のビジネスでは紙情報と自然言語の認識に対するニーズが強い

本日はRPA×AI-OCR、およびAIをご紹介

特に日本企業でニーズが強い

非構造化
データの種類

画像/動画



紙

Company Name		INVOICE	
Company Address/line item			
City, State, Zip Code			
Phone: extension			
Fax: extension			
Website: www.companywebsite.com			
Name	Date		
Address	State	Zip Code	
City	Phone		
Shipping Information Table			
City	Description	Price	Total

自然言語
(音声・テキスト)



RPAとの
連携技術

- 遠隔監視技術
- 顔認証技術
- 自動検品技術

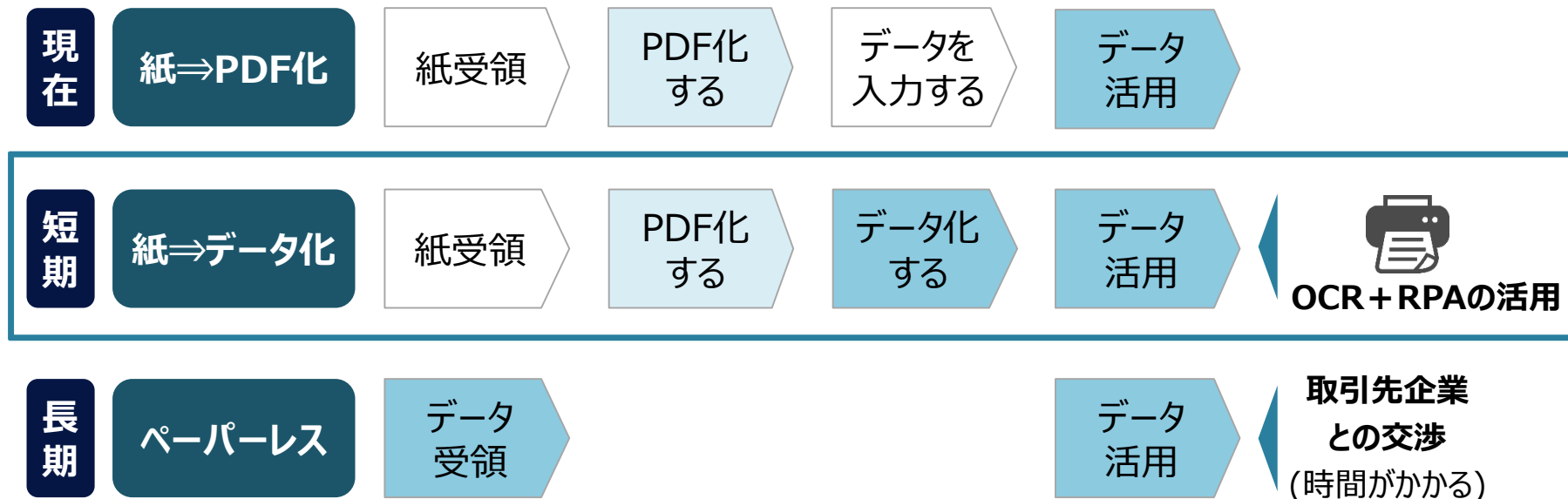
- Optical Character Recognition (OCR)

- 自然言語処理技術
- テキストマイニング
- チャットボット

ペーパーレス化に向けた施策 | OCR

長期的にはペーパーレス化に取り組みながらも、短期的施策としてOCRを活用することで紙のデータ化を実現する

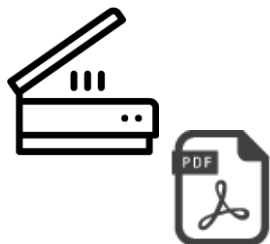
データ化のプロセスとペーパーレス化に向けた中長期施策



OCRとは画像データから文字情報を読み取り、文字データとして出力する技術

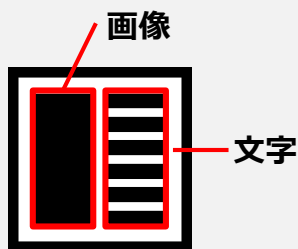
OCRの読み取りプロセス

画像取込 (スキャン)



- 対象物(帳票・文書等)をスキャナで取り込み

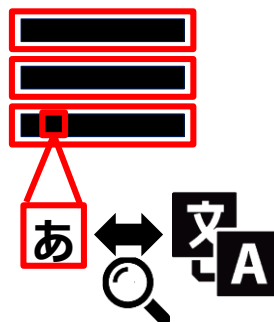
レイアウト解析



V

- 画像・文字のかたまりの配置を解析
- 文字認識する順番を確定

文字の抽出・認識



- 文字領域を行・文字単位に分解
- 文字サイズを補正
- 前後の文字を含めた単語の照合等により、文字を最終認識

文字の補正



V

- 文字認識に失敗した場合は、文字やレイアウトの補正を人間が実施

フォーマット出力



- Excel, csv, word等のフォーマットに変換し、出力

AI-OCRによる業務効率化の実現

AIとの融合により、これまでのOCRでは対応困難であった可変レイアウト帳票の読み取りが可能になった

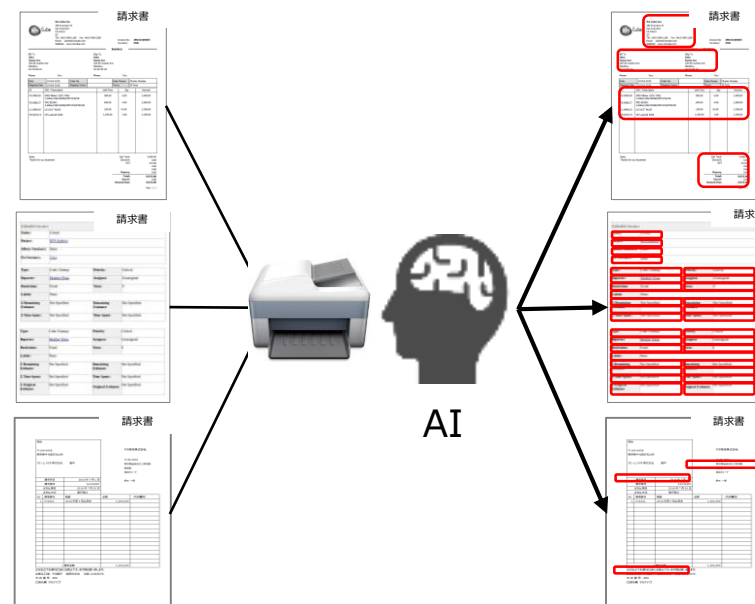
これまでのOCRの課題

これまでのOCR製品では固定帳票しか対応しておらず、可変帳票のレイアウト設定に費用と時間がかかっていた

		文字パターン	
		活字	手書き
帳票パターン	固定帳票	90%以上	70~80%
	可変帳票	ほぼ 対応不可	対応不可

OCRとAIの融合による解決策

可変帳票であっても、読取項目定義を人が指定するのではなく、読み取った画像から対応するレイアウト定義をAIが自動識別



本章の内容は、機密保持の観点より投影のみとさせていただきます

本章の内容は、機密保持の観点より投影のみとさせていただきます

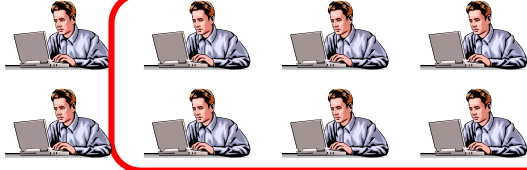
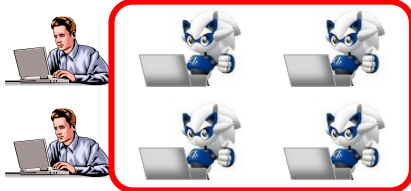
本章の内容は、機密保持の観点より投影のみとさせていただきます

ロボットとの協働による新しい働き方

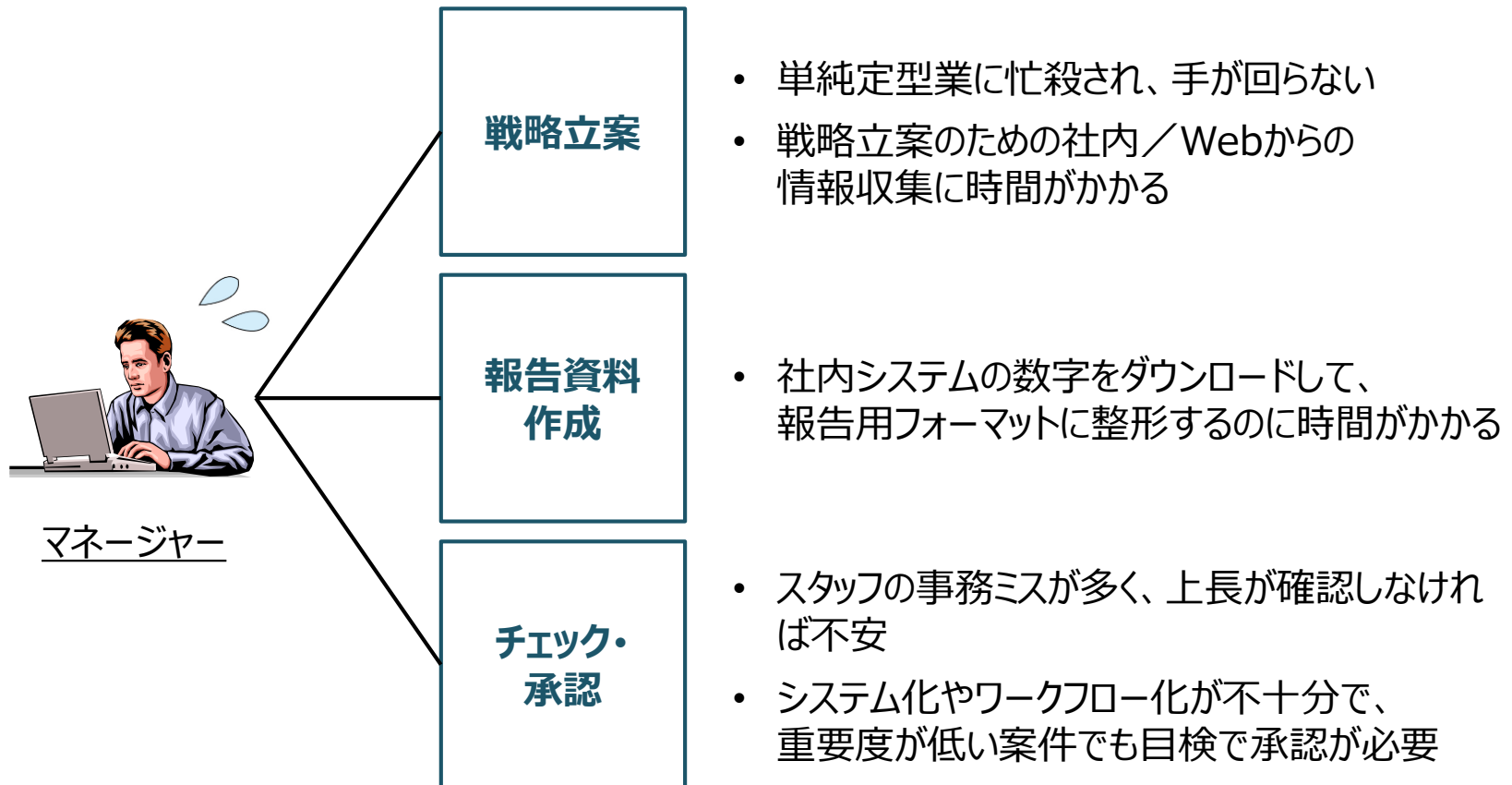


ロボットとの協働による余力の創出

RPAを組み合わせた業務遂行フォーメーションへ変革することで
人材を単純業務から開放し、余力を高度な業務へ再配置することが可能

業務遂行のフォーメーション	
従来：人に依存	
これから：RPA+人	
概要	- 全ての業務を人手で実施 - 定型オペレーションはRPA - 人間は高度な業務を中心に実施
業務種類	企画・調整
	
オペレーション	人を高度業務にシフト
	  RPA化
特徴	- 従業員の退職や、個々人の能力差が、業務生産性に大きく影響 - RPA化された業務は、恒久的に同一の生産性を維持する。 - 新規雇用が難しい場合でも、既存社員の負荷を軽減させ高度業務へシフト

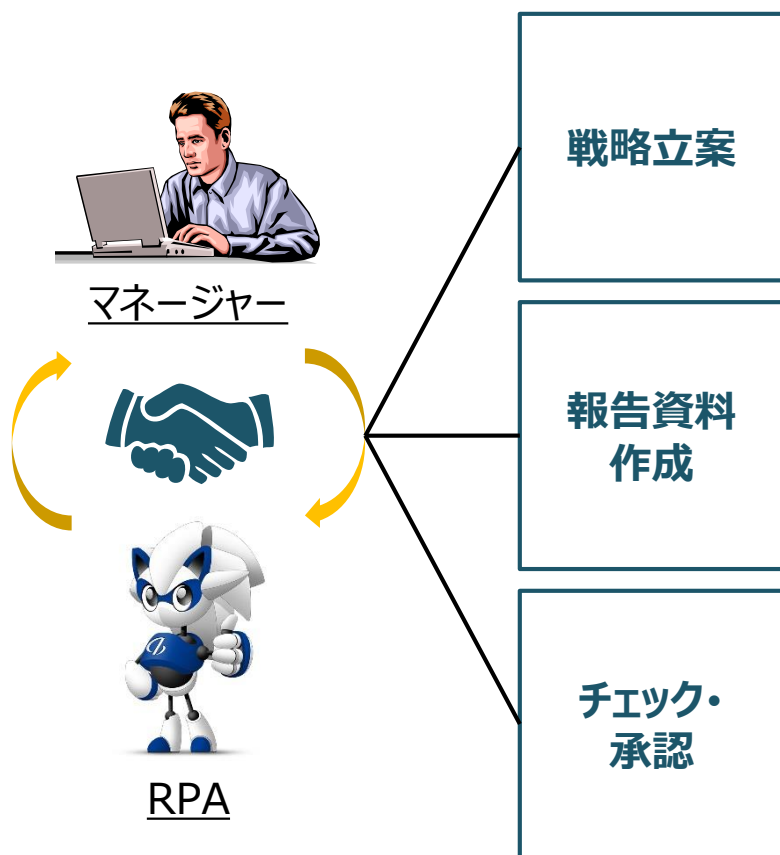
本社報告やチェック・承認といった業務に忙殺されて、マネージャーが本来時間を使うべき戦略立案業務に手が回っていないという状況が散見される



ロボットとの協働による新しい働き方 解決策 | ロボットの強みを最大化させ、戦略立案業務を実行

定型的な業務や間違いが許されない業務はRPAで自動化し、捻出した時間を戦略立案に充てる

RPAは人間の代替ではなく、人手では不可能な量・頻度・リードタイムの業務も行えるビジネスパートナーとなる



- 本社報告とチェック・承認工数をRPAで圧縮。創出した時間を戦略立案に転嫁
- 人手では不可能な量・頻度・リードタイムでRPAが情報収集を行い、戦略の精度を向上
- 社内システムからデータを抽出して定型様式に流し込むなどの定例・定型報告はRPA化してマニュアル処理を全廃
- スタッフの単純作業をRPA化することで正確性を担保して、マネージャーのチェックを廃止
- 金額や条件でルール化出来る判断はRPA化して、重要・例外案件のみ上長がチェック

人間の余力を活用する方向性

人間の余力を活用する方向性として、顧客サービスの強化、新規事業へのチャレンジ、業務の高度化が考えられる

余力を活用する方向性

顧客サービスの強化

- バックオフィス業務の人員をフロントオフィス業務へ再配置し、顧客サービスを強化



新しい事業へのチャレンジ

- 新サービス/新商品の企画
- 新規顧客の開拓
- 海外ビジネスの拡大



業務の高度化

- グループの経営戦略や事業計画を支援する業務へシフト（経理部門のケース）





ご静聴ありがとうございました

連絡先：

アビームコンサルティング株式会社 戦略ビジネスユニット

Tel : 03-6700-8099 (部門代表)

Email : JPABRPAMAIL@abeam.com



Real Partner®